

乾燥及び低温に対する農作物の当面の管理について

平成31年4月3日
農業技術課

県内では3月11日にまとまった降雨があった以降、降雨が少ない状況でスモモ、モモ等の開花期を迎え、乾燥による影響が心配されます。この先も乾燥傾向が続き、最低気温も低めに経過する予報となっており、低温による影響も心配されますので、今後の気象情報に注意し、農作物の管理を徹底して下さい。

降水量の推移

月	降水量 mm	平年値 mm	平年比
12月	29.5	32.2	92%
1月	6	40.1	15%
2月	33	46.1	72%
3月	63.5	87.8	72%

4月3日5時 山梨県の週間天気予報

日付	3水	4木	5金	6土	7日	8月	9火	
山梨県 府県天気予報へ	晴時々曇 	晴 	曇時々晴 	晴時々曇 	曇時々晴 	曇時々晴 	晴時々曇 	
降水確率(%)	-/10/10/0	0/0/0/0	20	10	30	30	20	
信頼度	/	/	A	A	A	C	A	
甲府	最高(°C)	13	17	19 (17~21)	20 (18~23)	20 (17~23)	20 (16~24)	20 (17~24)
	最低(°C)	/	2	3 (0~5)	4 (2~6)	4 (2~8)	6 (3~9)	6 (3~10)
平年値	降水量の合計		最高最低気温					
			最低気温		最高気温			
甲府	平年並 9 - 25mm		6.4 °C		18.5 °C			

<果樹>

- ほ場が乾燥している場合は、20~30mm の灌水を行う。特に乾燥は、凍霜害を助長するため注意する。但し、スモモ等で結実期に入っているものは、一度に多量の灌水は結実への影響を与えるので避ける。
- オウトウ等の雨よけハウスでは、降霜が予想される際にはビニールを下ろし予防する。
- 低温や凍霜害の被害を受けた場合、開花中であれば下向花や遅れ花を中心に丁寧な受粉を行うとともに、受粉回数を増やす。また、摘花や摘果を遅らせる（着果数の決定は凍霜害の危険がなくなってから行う）。

○施設果樹

- ・無加温ハウスでは、カーテンを閉めて保温に努めるとともに、簡易ストーブ等を使って加温する。また、早めに密閉して、ハウス内の余熱を確保する。
- ・ハウス内の夜温低下を防止するため、土壌表面を清耕するとともに、日中の気温の高い時間に散水をしておく。

<野 菜>

○無加温ハウス栽培（スイートコーン等）

- ・外気温が -1°C 以下になると予想された場合、ハウス内を多層（2～3層）被覆するとともに、状況によっては簡易ストーブ等を使って保温する。

○トンネル栽培、露地野菜（スイートコーン、レタス等）

- ・低温が予想される場合は、さらに保温効果の高い被覆資材（シルバーシート、不織布等）を利用し保温に努める。
- ・スイートコーンのトンネル栽培では、軟弱徒長しないよう日頃からトンネルの換気に注意する。

< 茶 >

○降霜が予想される場合は、以下の方法で寒冷紗等により被覆を行う。

- ・棚がけは、被覆資材を株面より60～90cm離して被覆する。被覆資材は光線透過率が40～50%のものを扱い、日中は開けておく。
- ・トンネルがけでは、被覆資材を株面より40cmの高さに被覆する。被覆資材は光線透過率が50～90%の不織布を用いる。